

産業環境委員会報告資料

令和8年4月15日

| 報告事項件名 | 頁 |
|---|----|
| (1) エアコン補助金に関する都の支援事業に伴う区補助金の実施方法の変更について | 2 |
| (2) 環境基本計画の策定状況について | 5 |
| (3) 区内の二酸化炭素排出量の算定結果について | 10 |
| (4) 環境基金審査会（令和8年度第1期）の審査結果及び次期募集について | 15 |
| (5) 足立区環境情報プラザ運営委託の公募型プロポーザルの実施について | 19 |

(環 境 部)

産業環境委員会報告資料

令和8年4月15日

| | | | |
|--|--|---|----------------------|
| 件名 | エアコン補助金に関する都の支援事業に伴う区補助金の実施方法の変更について | | |
| 所管部課名 | 環境部環境政策課 足立福祉事務所生活支援推進課 | | |
| 内容 | <p>令和8年4月1日、都の福祉局から令和8年度に実施するエアコン購入費補助に関する2つの緊急支援事業について要綱が示された。この2つの緊急支援事業の実施に伴い、区のエアコン補助事業を以下のとおり変更し実施する。</p> | | |
| | <p>1 実施概要【変更点は別紙参照】</p> | | |
| | <p>低所得者世帯向けと被保護世帯向けに分けて要綱を設置し、環境部と福祉部で連携し実施する。</p> | | |
| | | 低所得者世帯 | 被保護世帯 |
| | 所管課 | 環境部 環境政策課 | 足立福祉事務所 |
| | 補助額 | 上限10万円 本体費・工事費込み | 上限10万円 本体費・工事費込み |
| | 交付条件 | 東京ゼロエミポイント (※)の活用が必須 | 事前の訪問調査等エアコンの設置確認が必須 |
| 対象者 | <p>低所得者世帯 (低所得者の定義) ①住民税非課税世帯 ②住民税均等割りのみ課税世帯 ③児童扶養手当受給のひとり親家庭</p> | <p>被保護世帯で以下の要件を全て満たす世帯 ①居住する住宅にエアコンの設置がない、又は故障して使用できない世帯 ②生活保護の一時扶助(冷房器具購入費)の支給対象とならない世帯 ③熱中症対策としてエアコンの設置が必要と実施主体が認めた世帯</p> | |
| 受付期間 | 令和8年4月13日～ 令和9年2月26日 | (予定) 令和8年4月13日～ 令和9年2月26日 | |
| <p>※ 東京ゼロエミポイントとは、東京都の環境局が実施する省エネ性能の高い家電への買替えを促進する支援制度。当該事業の登録店舗で対象の商品を購入すると、ポイントに応じてその場で値引きされる。</p> | | | |

2 今後の方針

(1) 周知方法

- ア あだち広報4月10日号
- イ 区ホームページ・SNS
- ウ チラシ配布等
- エ 区内大手家電量販店及び令和7年度利用実績の多い販売店等への事前説明

(2) 予算計上

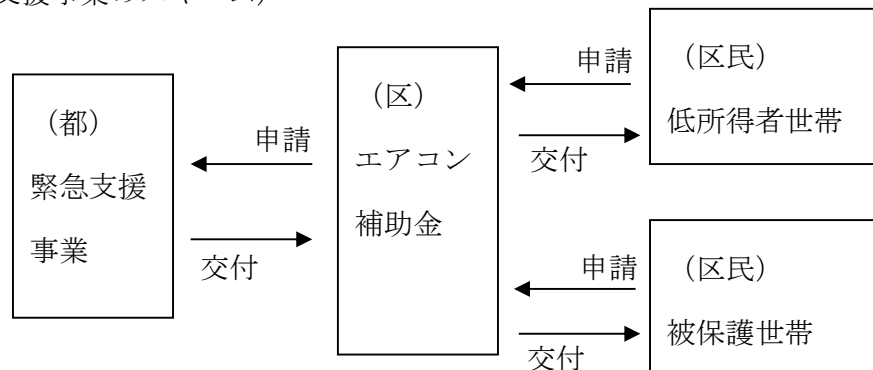
被保護世帯向けエアコン補助金については、令和8年度第2回定例会にて足立福祉事務所より補正予算計上予定（それまでの期間の実施は、環境部からの執行委任で実施）。

【参考】

東京都福祉局の緊急支援事業の概要

| <低所得者向け> | <被保護世帯向け> |
|---|---|
| 都から区に助成金を交付 | 都から区に助成金を交付 |
| 1世帯1台 | 1世帯1台 |
| 1世帯上限10万 | 1世帯上限10万 |
| 補助率3/4 | 補助率10/10 |
| ゼロエミポイント併用可 | ゼロエミポイント併用可 |
| <対象世帯要件> 低所得世帯における熱中症対策を強化することを目的に、エアコンの設置が必要であると実施主体が認める低所得世帯 | <対象世帯要件> 次に掲げるものを 全て満たすもの ①居住する住宅にエアコンの設置がない、又は故障して使用できない世帯 ②生活保護の一時扶助（冷房器具購入費）の支給対象とならない世帯 ③熱中症対策としてエアコンの設置が必要と実施主体が認めた世帯 |

(支援事業のスキーム)



【エアコン補助金変更比較図】

エアコンが1台もない世帯（新規購入）での比較。

区：足立区気候変動適応対策エアコン購入費補助金 都：東京ゼロエミポイント事業（令和7年度は拡充前の条件で記載）

| | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
|-------|--------------------------|-------|-----|-----|-------|---|----------------------------------|
| | | 区 | 都 | 合計 | 区 | 都 | 合計 |
| 非課税世帯 | 高齢者 | 7万円 | 1万円 | 8万円 | 10万円 | 8万円 (1万円) | 18万円 (11万円) |
| | 障がい者 (各手帳所持世帯) | 7万円 | 1万円 | 8万円 | | 8万円 (1万円) | 18万円 (11万円) |
| | 障がい者（自立支援医療 受給者証所持世帯） | 7万円 | 1万円 | 8万円 | | 1万円 | 11万円 |
| | ひとり親家庭 (児童扶養手当受給) | 7万円 | 1万円 | 8万円 | | ※ 東京ゼロエミポイントの活用は必須 ※ () = 高齢者・障がい者以外の金額 | |
| 課税世帯 | 高齢者 | 4万円 | 1万円 | 5万円 | 10万円 | 1万円 ※活用は 任意 | 10万円 + ゼロエミ ポイント 利用分 |
| | 障がい者 (各手帳所持世帯) | 4万円 | 1万円 | 5万円 | | | |
| | 障がい者（自立支援医療 受給者証所持世帯） | 4万円 | 1万円 | 5万円 | | | |
| | ひとり親家庭 (児童扶養手当未受給) | 4万円 | 1万円 | 5万円 | | | |



| | | 区 | 都 | 合計 |
|---|---|------|--------------|----------------------------------|
| 低所得者世帯 (環境部) | 住民税非課税世帯 | | 8万円 (1万円) | 18万円 (11万円) |
| | 住民税均等割りのみ課税世帯 | 10万円 | 8万円 (1万円) | 18万円 (11万円) |
| | 児童扶養手当受給世帯 | | 1万円 | 11万円 |
| ※ 東京ゼロエミポイントの活用は必須 ※ () = 高齢者・障がい者以外の金額 | | | | |
| 被保護世帯 (福祉部) | 被保護世帯で以下の要件を全 て満たす世帯 ①居住する住宅にエアコンの 設置がない、又は故障して 使用できない世帯 ②生活保護の一時扶助（冷房 器具購入費）の支給対象と ならない世帯 ③熱中症対策としてエアコン の設置が必要と実施主体が 認めた世帯 | 10万円 | 1万円 | 10万円 + ゼロエミ ポイント 利用分 |
| | | | ※活用は 任意 | |
| | | | | |
| | | | | |

産業環境委員会報告資料

令和8年4月15日

| | |
|-------|---|
| 件名 | 環境基本計画の策定状況について |
| 所管部課名 | 環境部環境政策課 |
| 内容 | <p>令和8年度末の策定を目指し、環境審議会に諮問し第四次環境基本計画の検討を進めている。令和7年度第3回環境審議会における審議の概要について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 環境審議会開催日時・出席委員数</p> <p>(1) 開催日時 令和8年2月9日(月) 午後2時から午後4時15分まで</p> <p>(2) 出席委員数 15名の委員のうち13名出席</p> <p>2 審議事項と主な意見等</p> <p>(1) 専門部会の検討結果の共有について 環境基本計画策定における重要な課題2点をテーマとし、施策の方向性等を検討することを目的に、令和7年9月から11月にわたり、各テーマ2回の専門部会を実施したため、その結果を全体共有した。</p> <p>ア 専門部会</p> <p>(ア) CO₂排出削減目標設定・方策検討専門部会 国や東京都が新たに示した2035、2040年度目標などを踏まえた区の新たなCO₂削減目標の設定と、目標実現のための具体的な施策について検討した。</p> <p>(イ) 意識啓発・行動変容専門部会 現行計画の進捗から浮き彫りになった課題である、区民の意識啓発と行動変容を促す施策や、特に若い世代に届く啓発、情報発信について検討した。</p> <p>イ 各専門部会の取りまとめ内容 別紙(環境審議会資料)参照7～8ページ</p> <p>ウ 主な意見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 区では、省エネルギーの周知や再生可能エネルギー導入の啓発、誘導を進めているが、外からみるとわかりづらい。 ⇒ 数値化などで「見える化」を図り、区民にとってわかりやすい周知、啓発に取り組んでいく。</p> <p>② 他区に比べイベントや講座の実施回数は多いが、区民の行動変容に繋がっていない。</p> </div> |

- ③ 外国人のごみ分別を促進するモデル地域での取組は何か。
⇒ 4か国語のチラシを作成し、ふれあい指導員が直接説明を行った。また、日本語学校に訪問し指導を行っている。
- ④ 若者が環境マイスターとなって活躍できる仕組みを構築してほしい。
⇒ 令和7年度は、新たに大学連携経由で周知を行った結果、10代20代の環境マイスターが誕生している。今後も同様に、区内大学への働きかけを続けていく。

(2) 第四次環境基本計画の施策群について

既に環境審議会で共有している柱ごとに施策群を設定し計画を体系化した。

ア 計画の体系

別紙（環境審議会資料）参照 9ページ

イ 主な意見

- ① 施策群の説明を「何をしてどのような効果を狙うのか」がわかるよう具体的に表現していくべき。
- ② 区民の意識に関する指標を年代別に設定することはできるか。
⇒ 細分化によりデータの変動、ブレが生じ、長期的な傾向が捉えにくくなる可能性がある。
結果の分析内容を詳細に報告すること等を検討する。
- ③ 施策の方向性と具体的な事業との関係性を明確にし、レイアウトしていくべき。
- ④ 活動内容等がわかる写真を併せて掲載してほしい。

3 計画策定に向けた今後のスケジュール（予定）

| | |
|----------|---------------------------------------|
| 令和8年 5月 | 令和8年度第1回環境審議会 審議（計画素案と施策への審議会意見反映） |
| 令和8年 9月 | 令和8年度第2回環境審議会 答申 |
| 令和8年11月 | 産業環境委員会において答申内容及びパブリックコメント実施に関する報告 |
| 令和8年11月 | パブリックコメント実施 |
| 令和9年 1月 | 産業環境委員会においてパブリックコメント実施結果を報告 |
| 令和9年2～3月 | 第四次環境基本計画完成予定 |

4 今後の方針

引き続き、環境審議会で検討を進めたうえ、答申後は、パブリックコメントにより広く区民の意見を集約、反映させ新たな環境基本計画を完成させていく。

| | |
|-------|---|
| 件名 | 専門部会の検討結果について |
| 所管部課名 | 環境部環境政策課 |
| 内容 | <p>第四次足立区環境基本計画策定に向け、区が特に重点を置く課題に関して検討するため、環境審議会に専門部会を設置した。 各専門部会で取りまとめた内容について、環境審議会で全体共有する。</p> <p>1 環境基本計画策定に係る重点課題と専門部会における検討内容（おさらい）</p> <p>(1) CO₂削減目標設定と取組の方向性 区のCO₂削減実績の推移や、国や東京都が設定した目標などを踏まえた新たな削減目標の設定と実現に向けた方策の検討。 ➔柱1「地球温暖化対策（脱炭素化の推進）」に反映</p> <p>(2) 現行計画の進捗から浮き彫りになった課題である、意識啓発や行動変容を促す仕組みの検討。 ➔主に柱5「意識の向上と行動変容のしくみづくり」に反映</p> <div style="text-align: center;"> <p>環境基本計画柱立て</p> <p>柱1 地球温暖化対策(脱炭素化の推進) 【専門部会設置】 気候変動適応策</p> <p>柱2 ごみの減量と循環型社会の構築</p> <p>柱3 自然環境・生物多様性の保全</p> <p>柱4 良好な生活環境づくりの推進</p> <p>柱5 意識の向上と行動変容のしくみづくり 【専門部会設置】 ★ ウェルビーイングを高めるライフスタイル ★ やってみたい環境活動を後押し ★ 子ども・若者の意見反映</p> <p>全ての柱に関係</p> </div> <p>図 第四次足立区環境基本計画柱立て (令和7年度第1回審議会にて確認)</p> |

2 専門部会の検討結果の共有

(1) CO₂削減目標設定・方策検討専門部会

ア 目標設定

2035年度目標：2013年度比61%以上削減

2040年度目標：2013年度比73%削減

(目標の早期実現を目指し野心的に取り組を進める)

また、全体の排出削減目標と併せ、区が対策に注力する家庭部門の取組によるCO₂削減の目安も示していく。

イ 施策の方向性

- ① 再生可能エネルギー導入拡大(区の強みを活かしたCO₂削減策)
- ② 省エネルギー(CO₂削減効果が高い住宅等の断熱化や新たな技術の活用等)
- ③ プラスチック分別とごみの減量
- ④ 自動車部門のCO₂排出削減

(2) 意識啓発・行動変容専門部会

ア すべての年代の意識啓発・行動変容につながる施策の方向性

- ① 環境の取組で「+αの効果」を感じてもらえる仕組み
- ② イベント実施の方向性と啓発策
- ③ 人材の育成と活用
- ④ 「やってみたい」環境活動の支援

イ 子ども・若者の意識啓発・行動変容

- ① 若者に届く情報発信
- ② 体験の機会を創出
- ③ 楽しみながら環境を学ぶ仕組み
- ④ 家庭で共有、習慣化

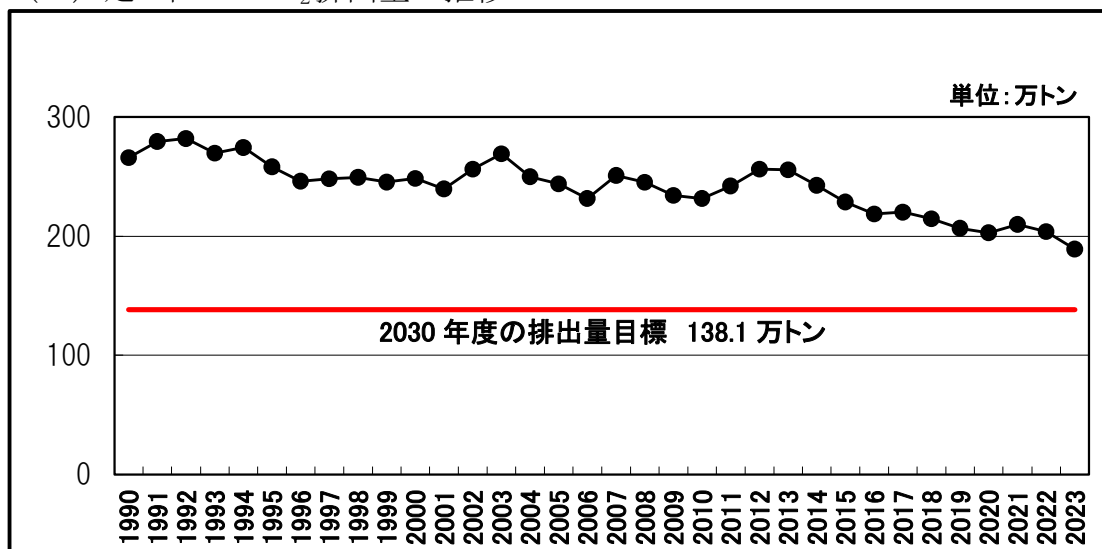
| 件名 | 第四次環境基本計画の施策群について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|-----|-------------------|-----|--|---|------------------|-----|-----------|-----|----------------|-----|-----------------|---|----------------|-----|-------|-----|---------------|---|---------------|-----|-------------------|-----|------------|---|---------------|-----|-----------------|-----|-------------|---|-------------------|-----|-------------------|
| 所管部課名 | 環境部環境政策課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>第四次足立区環境基本計画の施策群の構成について以下のとおりまとめた。</p> <p>1 計画の体系と施策群の構成</p> <table border="1" data-bbox="435 573 1425 1290"> <thead> <tr> <th colspan="2">柱</th> <th colspan="2">施策群</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">地球温暖化対策（脱炭素化の推進）</td> <td>1-1</td> <td>省エネルギーの推進</td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>再生可能エネルギーの利用拡大</td> </tr> <tr> <td>1-3</td> <td>気候変動による被害の回避・軽減</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">ごみの減量と循環型社会の構築</td> <td>2-1</td> <td>ごみの減量</td> </tr> <tr> <td>2-2</td> <td>持続可能な資源利用への転換</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">自然環境・生物多様性の保全</td> <td>3-1</td> <td>自然や生物多様性に対する理解の促進</td> </tr> <tr> <td>3-2</td> <td>自然環境の保全と創出</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2">良好な生活環境づくりの推進</td> <td>4-1</td> <td>生活環境の保全と公害対策の推進</td> </tr> <tr> <td>4-2</td> <td>快適で美しいまちづくり</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>意識の向上と行動変容のしくみづくり</td> <td>5-1</td> <td>環境意識の啓発と行動する人材の育成</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 指標と目標設定</p> <p>脱炭素化につながる新しい技術や区の実施内容等についてコラムを設けわかりやすく紹介していく。</p> <p>指標設定の考え方については以下のとおり。</p> <div data-bbox="435 1507 1433 1800" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 区民の意識や取組状況のような長期間での変化を確認する必要があるものは、現行計画の指標を引き続き使用する。 例：世論調査の環境意識に関する回答結果</p> <p>② 現行計画において、実績の根拠となる数値（実績）を毎年度集計、更新していないものは新計画では指標に設定しない。 例：樹木被覆地率等</p> </div> | 柱 | | 施策群 | | 1 | 地球温暖化対策（脱炭素化の推進） | 1-1 | 省エネルギーの推進 | 1-2 | 再生可能エネルギーの利用拡大 | 1-3 | 気候変動による被害の回避・軽減 | 2 | ごみの減量と循環型社会の構築 | 2-1 | ごみの減量 | 2-2 | 持続可能な資源利用への転換 | 3 | 自然環境・生物多様性の保全 | 3-1 | 自然や生物多様性に対する理解の促進 | 3-2 | 自然環境の保全と創出 | 4 | 良好な生活環境づくりの推進 | 4-1 | 生活環境の保全と公害対策の推進 | 4-2 | 快適で美しいまちづくり | 5 | 意識の向上と行動変容のしくみづくり | 5-1 | 環境意識の啓発と行動する人材の育成 |
| | 柱 | | 施策群 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 地球温暖化対策（脱炭素化の推進） | 1-1 | 省エネルギーの推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 1-2 | 再生可能エネルギーの利用拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 1-3 | 気候変動による被害の回避・軽減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | ごみの減量と循環型社会の構築 | 2-1 | ごみの減量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2-2 | 持続可能な資源利用への転換 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 自然環境・生物多様性の保全 | 3-1 | 自然や生物多様性に対する理解の促進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3-2 | 自然環境の保全と創出 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 良好な生活環境づくりの推進 | 4-1 | 生活環境の保全と公害対策の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4-2 | 快適で美しいまちづくり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 意識の向上と行動変容のしくみづくり | 5-1 | 環境意識の啓発と行動する人材の育成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

産業環境委員会報告資料

令和8年4月15日

| 件名 | 区内の二酸化炭素排出量の算定結果について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|--------------|---------------|---------------|---------|---------|------------|--------------|--------------|---------------|---------------|-----|---------|-------|--------|--------|------|---------|-------|--------|--------|
| 所管部課名 | 環境部環境政策課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>最新の二酸化炭素（以下、「CO₂」という。）排出量実績(※)が公表されたため、概要を報告する。</p> <p>※ オール東京62市区町村共同事業の独自算定による排出量実績 ➡ 算定には都全体のエネルギー使用量を地域ごとの活動量で案分した数値が使用されている。</p> <p>※ 集計に時間を要するため、今回算定された最新の実績は2023年度の排出量となる。</p> <p>1 2023年度CO₂排出量</p> <p>(1) 足立区と23区、多摩地域のCO₂排出量 (単位：万トン)</p> <table border="1" data-bbox="430 913 1476 1209"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023年度 排出量</th> <th>前年度比</th> <th>2013年度比</th> <th>2000年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足立区</td> <td>189.1</td> <td>▲7.2%</td> <td>▲26.1%</td> <td>▲23.9%</td> </tr> <tr> <td>23区</td> <td>3,653.5</td> <td>▲6.7%</td> <td>▲27.0%</td> <td>▲16.3%</td> </tr> <tr> <td>多摩地域</td> <td>1,235.8</td> <td>▲6.8%</td> <td>▲23.9%</td> <td>▲17.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>足立区環境基本計画改定版に定めるCO₂削減目標（基準：2013年度）2030年度▲46%以上 東京都は削減目標の基準年度を2000年度としているため、2000年度比の削減割合も併せて表示する。</p> <p>(参考) 基準年度の設定について</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>足立区はCO₂の削減目標の基準年度を国と同じ2013年度に設定している。</p> <p>パリ協定（2015年合意）に基づき各国が温室効果ガスの削減目標を設定するなか、日本は、直近かつ整合的なデータが揃う2013年度を基準年度として設定した。</p> <p>また、削減量を多く見せるため各国とも排出量が多い年を基準年に設定している傾向がある。</p> <p>日本：2013年 アメリカ：2005年 EU：1990年</p> </div> | | 2023年度 排出量 | 前年度比 | 2013年度比 | 2000年度比 | 足立区 | 189.1 | ▲7.2% | ▲26.1% | ▲23.9% | 23区 | 3,653.5 | ▲6.7% | ▲27.0% | ▲16.3% | 多摩地域 | 1,235.8 | ▲6.8% | ▲23.9% | ▲17.1% |
| | 2023年度 排出量 | 前年度比 | 2013年度比 | 2000年度比 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 足立区 | 189.1 | ▲7.2% | ▲26.1% | ▲23.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23区 | 3,653.5 | ▲6.7% | ▲27.0% | ▲16.3% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 多摩地域 | 1,235.8 | ▲6.8% | ▲23.9% | ▲17.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(2) 足立区のCO₂排出量の推移



(3) 部門別CO₂排出割合 (2023年度)

| | 産業 | 家庭 | 業務 | 自動車 | その他 |
|------------|-------------|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 足立区 | 8.9% | 39.6% | 24.0% | 19.6% | 7.9% |
| 23区 | 5.3% | 31.5% | 43.0% | 12.9% | 7.4% |
| 多摩地域 | 10.1% | 36.6% | 32.5% | 16.5% | 4.3% |

※ 端数処理の関係で合計が合わないことがある。

(4) 部門別CO₂排出量の増減率 (前年度比、基準年度比)

| | 2023年度排出量 (万トン)と 23区順位(少ない順) | 前年度比 増減率 | 基準年度 (2013年度)比 増減率 |
|-------|------------------------------------|-------------|--------------------------|
| 農業 | 0.1(18位) | ±0% | ▲50.0% |
| 建設業 | 3.5(16位) | ▲12.5% | ▲37.5% |
| 製造業 | 13.3(19位) | ▲22.7% | ▲30.0% |
| 産業部門計 | 16.9(19位) | ▲20.7% | ▲31.9% |
| 家庭 | 74.8(20位) | ▲9.7% | ▲24.4% |
| 業務 | 45.4(11位) | 0.4% | ▲25.7% |
| 民生部門計 | 120.2(13位) | ▲6.1% | ▲24.8% |
| 自動車 | 37.1(22位) | ▲3.9% | ▲31.9% |
| 鉄道 | 6.0(17位) | ▲6.3% | ▲26.8% |
| 運輸部門計 | 43.0(23位) | ▲4.4% | ▲31.4% |
| 廃棄物部門 | 9.0(21位) | ▲4.3% | 7.1% |
| 総合計 | 189.1(17位) | ▲7.2% | ▲26.1% |

※ 端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

2 現状分析と今後の対応

(1) 現状分析

ア 足立区の部門別排出量が最も多い家庭部門において、排出量は前年度比で8万トン（区民一人あたりに換算すると年間120キロ）減少した。

（13ページ、（表4）CO₂増減率（家庭部門）参照）

イ CO₂排出量全体に占める家庭部門の割合は39.6%で前年度比1.0ポイントの減となった。

（10ページ、1（3）部門別CO₂排出割合参照）

ウ 増加傾向にあった産業部門、特に製造業のCO₂排出量が前年度比で22.7パーセント減少した。

（10ページ、1（4）部門別CO₂排出量の増減率参照）

エ 面積の広さや高速道路、幹線道路等道路の延長が長いなどの理由から自動車部門は23区で最も排出量が多い部門であったが、前年度比で3.9%減少し、23区ワーストから脱却した。

（10ページ、1（4）部門別CO₂排出量の増減率参照）

(2) 原因の考察

ア 新型コロナウイルスが5類感染症に移行し経済活動が本格的に再開したことに伴い、在宅勤務の減少等で家庭部門の排出量が減少した。

イ 製造業については、これまでCO₂排出量が増加傾向にあったが、CO₂排出係数（※）の低下の影響もあり、2023年度は前年度比減少に転じた。

※ 電気使用量1キロワットアワーあたりに排出されるCO₂の量で、石炭火力が高く、再生可能エネルギーは算定上ゼロとなる。

(3) 家庭部門の更なるCO₂排出削減に向けた取組について

ア ホームページ、SNS等での情報発信強化に加え、区の大規模イベントへの出展で環境への意識が高くない層に向けた啓発を展開する。

イ 省エネリフォームや太陽光発電等、脱炭素効果の高い設備導入を補助事業により後押しする。

ウ プラスチック分別回収の区内全域展開と併せ、分別方法等の丁寧な周知、発信による協力度向上や、生ごみ処理機の活用PR等でごみの減量を図る。

【参考データ】

3 近隣区との比較（2023年度）

（表1）CO₂総排出量（少ない順、数字は23区順位）

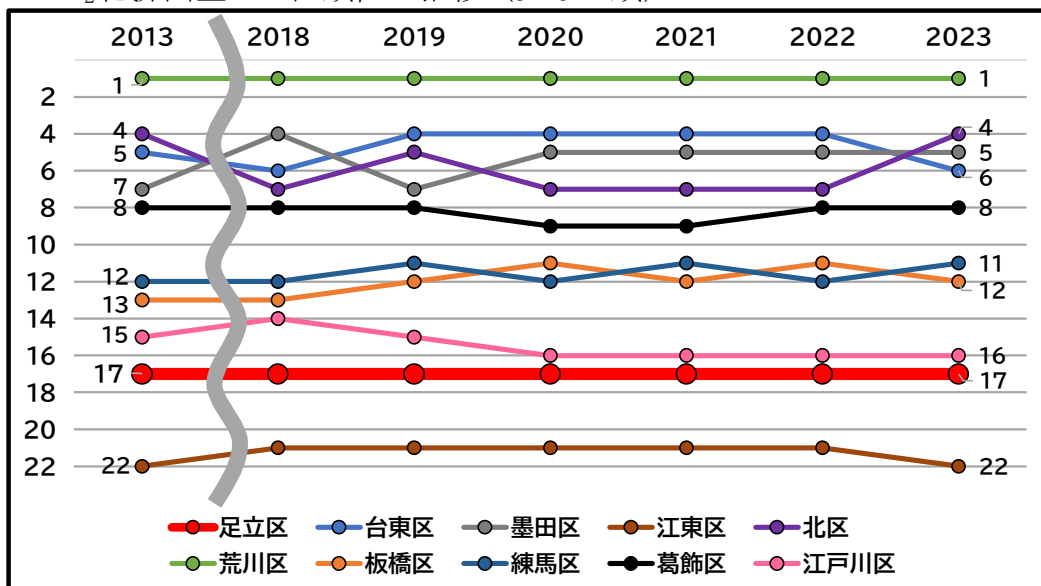
（単位：万トン）

| 区名 | 排出量 | 区名 | 排出量 |
|-------|-------|---------|-------|
| 1 荒川区 | 59.3 | 11 練馬区 | 160.2 |
| 4 北区 | 95.0 | 12 板橋区 | 160.4 |
| 5 墨田区 | 95.9 | 16 江戸川区 | 173.5 |
| 6 台東区 | 99.8 | 17 足立区 | 189.1 |
| 8 葛飾区 | 114.9 | 22 江東区 | 253.2 |

足立区は17位

23区中 1位 荒川区 23位 港区

CO₂総排出量23区順位の推移（少ない順）



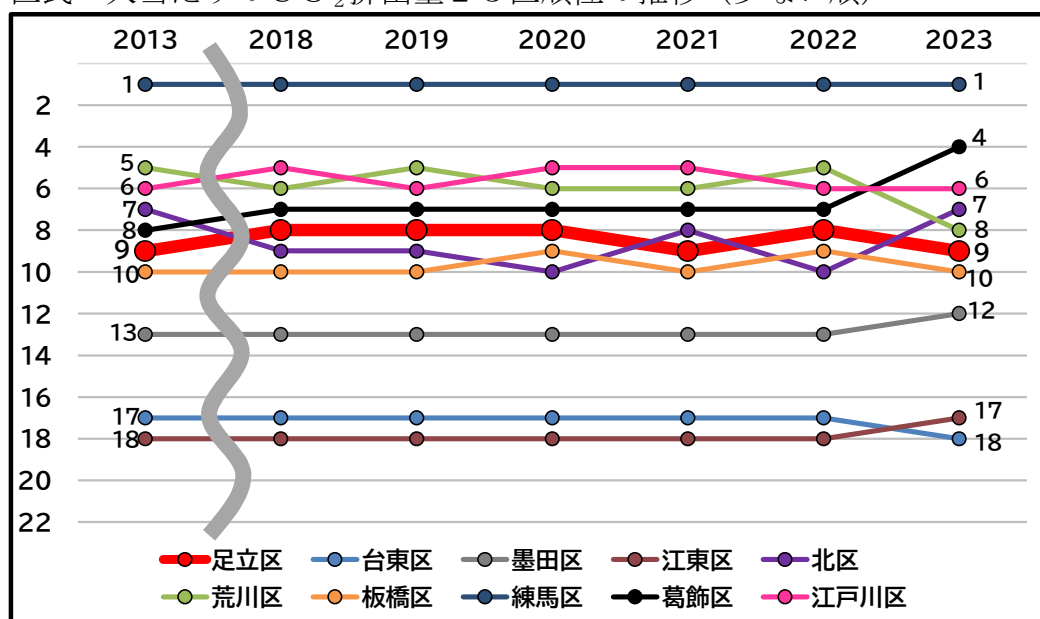
(表2) 区民一人当たりのCO₂排出量（少ない順、数字は23区順位）
(単位：トン)

| 区名 | 排出量 | 区名 | 排出量 |
|--------|------|--------|------|
| 1 練馬区 | 2.17 | 9 足立区 | 2.74 |
| 4 葛飾区 | 2.47 | 10 板橋区 | 2.81 |
| 6 江戸川区 | 2.52 | 12 墨田区 | 3.40 |
| 7 北区 | 2.68 | 17 江東区 | 4.73 |
| 8 荒川区 | 2.73 | 18 台東区 | 4.78 |

足立区は9位（前年度8位）

23区中 1位 練馬区 23位 千代田区

区民一人当たりのCO₂排出量23区順位の推移（少ない順）



(表3) CO₂増減率 (総排出量)

| | CO ₂ 排出量 (全部門合計) | | | 区民一人あたりの CO ₂ 排出量 (全部門合計) | | |
|------------|--------------------------------|------------------|--------------|---|-----------------|--------------|
| | 2022 年度 (万トン) | 2023 年度 (万トン) | 増減率 | 2022 年度 (トン) | 2023 年度 (トン) | 増減率 |
| 足立区 | 203.8 | 189.1 | ▲7.2% | 2.94 | 2.74 | ▲6.8% |
| 台東区 | 99.3 | 99.8 | 0.5% | 4.67 | 4.78 | 2.4% |
| 墨田区 | 102.9 | 95.9 | ▲6.8% | 3.77 | 3.40 | ▲9.8% |
| 江東区 | 266.2 | 253.2 | ▲4.9% | 5.07 | 4.73 | ▲6.7% |
| 北区 | 105.4 | 95.0 | ▲9.9% | 2.99 | 2.68 | ▲10.4% |
| 荒川区 | 59.3 | 59.3 | ±0% | 2.74 | 2.73 | ▲0.4% |
| 板橋区 | 172.8 | 160.4 | ▲7.2% | 2.98 | 2.81 | ▲5.7% |
| 練馬区 | 173.2 | 160.2 | ▲7.5% | 2.31 | 2.17 | ▲6.1% |
| 葛飾区 | 124.8 | 114.9 | ▲7.9% | 2.77 | 2.47 | ▲10.8% |
| 江戸川区 | 189.8 | 173.5 | ▲8.6% | 2.75 | 2.52 | ▲8.4% |
| 23 区全体 | 3,916.3 | 3,653.5 | ▲6.7% | 4.05 | 3.81 | ▲5.9% |

(表4) CO₂増減率 (家庭部門)

| | CO ₂ 排出量 (家庭部門) | | | 区民一人あたりの CO ₂ 排出量 (家庭部門) | | |
|------------|-------------------------------|------------------|--------------|--|-----------------|---------------|
| | 2022 年度 (万トン) | 2023 年度 (万トン) | 増減率 | 2022 年度 (トン) | 2023 年度 (トン) | 増減率 |
| 足立区 | 82.8 | 74.8 | ▲9.7% | 1.20 | 1.08 | ▲10.0% |
| 台東区 | 33.3 | 30.8 | ▲7.5% | 1.57 | 1.47 | ▲6.4% |
| 墨田区 | 36.4 | 33.1 | ▲9.1% | 1.33 | 1.17 | ▲12.0% |
| 江東区 | 63.8 | 57.9 | ▲9.2% | 1.22 | 1.08 | ▲11.5% |
| 北区 | 43.3 | 39.0 | ▲9.9% | 1.23 | 1.10 | ▲10.6% |
| 荒川区 | 26.6 | 24.1 | ▲9.4% | 1.23 | 1.11 | ▲9.8% |
| 板橋区 | 69.7 | 63.0 | ▲9.6% | 1.20 | 1.11 | ▲7.5% |
| 練馬区 | 92.0 | 82.5 | ▲10.3% | 1.23 | 1.12 | ▲8.9% |
| 葛飾区 | 54.8 | 49.4 | ▲9.9% | 1.21 | 1.06 | ▲12.4% |
| 江戸川区 | 79.2 | 71.0 | ▲10.4% | 1.15 | 1.03 | ▲10.4% |
| 23 区全体 | 1,278.4 | 1,149.5 | ▲10.1% | 1.32 | 1.20 | ▲9.1% |

産業環境委員会報告資料

令和8年4月15日

| 件名 | 環境基金審査会（令和8年度第1期）の審査結果及び次期募集について | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|------|--------|--------|-------------|--------|--------|---|--------|--------|-------|--------------|--|---------|
| 所管部課名 | 環境部環境政策課 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>令和8年3月30日（月）に開催した令和8年度第1期環境基金審査会の結果と助成対象活動について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 募集と採択</p> <p>(1) 募集期間 令和7年12月10日（水）から令和8年1月30日（金）まで</p> <p>(2) 応募・採択件数</p> <table border="1" data-bbox="475 817 1465 1131"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>応募 (カッコ内は令和7年度第1期応募数)</th> <th>採択 (カッコ内は令和7年度第1期採択数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般助成</td> <td>1件（2件）</td> <td>1件（1件）</td> </tr> <tr> <td>ファーストステップ助成</td> <td>3件（1件）</td> <td>3件（1件）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4件（3件）</td> <td>4件（2件）</td> </tr> </tbody> </table> <p>ア 一般助成（助成上限1,000万円）</p> <p>① 区が設定する課題に対応する活動や先進的な技術開発、研究等が対象</p> <p>② 環境基金審査会でのプレゼンテーション審査</p> <p>イ ファーストステップ助成（助成上限20万円）</p> <p>① 新たに開始する環境活動や既存の取組の拡充等が対象</p> <p>② 書類審査のみ</p> <p>2 採択された活動</p> <p>(1) 一般助成</p> <p>ア 洗浄装置付き「資源ステーション」によるプラ分別体験型啓発とイベントごみの資源化推進</p> <p>【申請者 株式会社新井商店】</p> <table border="1" data-bbox="491 1765 1465 2049"> <thead> <tr> <th>活動の概要</th> <th>交付決定額 (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イベントでの使用済み容器の洗浄及び分別体験実施によりプラスチック分別を啓発するとともに、回収したプラスチックの資源循環ルートの構築等、継続性のある事業モデルとして整備する。</td> <td>134.9万円</td> </tr> </tbody> </table> | 部門 | 応募 (カッコ内は令和7年度第1期応募数) | 採択 (カッコ内は令和7年度第1期採択数) | 一般助成 | 1件（2件） | 1件（1件） | ファーストステップ助成 | 3件（1件） | 3件（1件） | 計 | 4件（3件） | 4件（2件） | 活動の概要 | 交付決定額 (※) | イベントでの使用済み容器の洗浄及び分別体験実施によりプラスチック分別を啓発するとともに、回収したプラスチックの資源循環ルートの構築等、継続性のある事業モデルとして整備する。 | 134.9万円 |
| 部門 | 応募 (カッコ内は令和7年度第1期応募数) | 採択 (カッコ内は令和7年度第1期採択数) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般助成 | 1件（2件） | 1件（1件） | | | | | | | | | | | | | | | |
| ファーストステップ助成 | 3件（1件） | 3件（1件） | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 4件（3件） | 4件（2件） | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動の概要 | 交付決定額 (※) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イベントでの使用済み容器の洗浄及び分別体験実施によりプラスチック分別を啓発するとともに、回収したプラスチックの資源循環ルートの構築等、継続性のある事業モデルとして整備する。 | 134.9万円 | | | | | | | | | | | | | | | | |

(2) ファーストステップ助成

ア 根っこでつながる大豆プロジェクト

【申請者 NPO 任意団体まんまのおかって】

| 活動の概要 | 交付決定額 |
|--|--------|
| 地域住民や高齢者施設を対象に、大豆の栽培、収穫、発酵（味噌づくり）、種取りまでの体験と併せ、専門家による環境学習を実施し、参加者の自然環境と「食」のつながりについて理解を促す。 | 16.7万円 |

イ 映画「リペアカフェ」上映による資源循環拠点形成事業

【申請者 株式会社新井商店】

| 活動の概要 | 交付決定額 |
|--|--------|
| 映画「リペアカフェ」(※1)の上映と併せ意見交換会を実施し、物を大切にす文化を地域住民と共有し、相互扶助型の環境行動につなげる。また、区内でのリペアカフェ実施(※2)に向け課題を整理する。 | 16.9万円 |

※1 オランダ・アムステルダムを舞台にリペアカフェに集う人やモノを描いたドキュメンタリー。

※2 壊れたものを持ち寄り、地域のボランティアや専門家と一緒に修理を行うコミュニティ型の場。

ウ 規格外野菜を活用した環境配慮型活動

【申請者 NPO 任意団体 PiyochiiiHOUSE】

| 活動の概要 | 交付決定額 |
|--|--------|
| 農家から規格外野菜を引き取り、子ども食堂やキッチンカーでの調理・販売に活用する。提供時には規格外野菜が廃棄されている実情などを伝えるとともに、ワークショップの実施や情報発信により啓発活動を進めていく。 | 20.0万円 |

3 今後の方針

- (1) 活動期間中、計画に沿って取組が進められているか経過を確認し、啓発効果を高める周知策の検討やスケジュールの再調整のサポートなど、必要な支援を行う。
- (2) 活動終了後、実績報告書を審査のうえ、交付決定額の範囲内で活動に要した金額を助成する。
- (3) 助成対象期間終了から3年間、取組の継続状況について報告書の提出を求める。

4 環境基金審査会

(1) 開催日

令和8年3月30日(月) 午前9時30分から11時40分まで

(2) 審査委員の構成(9名中7名出席)

| 委員区分 | 役職等 | 人数 |
|---------|-------------------------|----|
| 学識経験者 | 千葉大学大学院社会科学研究院 教授 | 3名 |
| | 東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科 教授 | |
| | 東邦大学理学部生命圏環境科学科 准教授 | |
| 区議会推薦委員 | 区議会議員 | 3名 |
| 区民委員(※) | 公募により決定した区民委員 | 3名 |

※ 3名中2名が30歳以下の若者枠

5 今後の募集について

令和8年度第2期

現在、助成対象となる活動を募集中(～5月末)

7月30日(木)に環境基金審査会を開催予定。

令和8年度及び令和9年度第1期の予定と環境基金残高の推移については別紙(18ページ)参照

(参考1) 令和8年度及び令和9年度第1期の予定

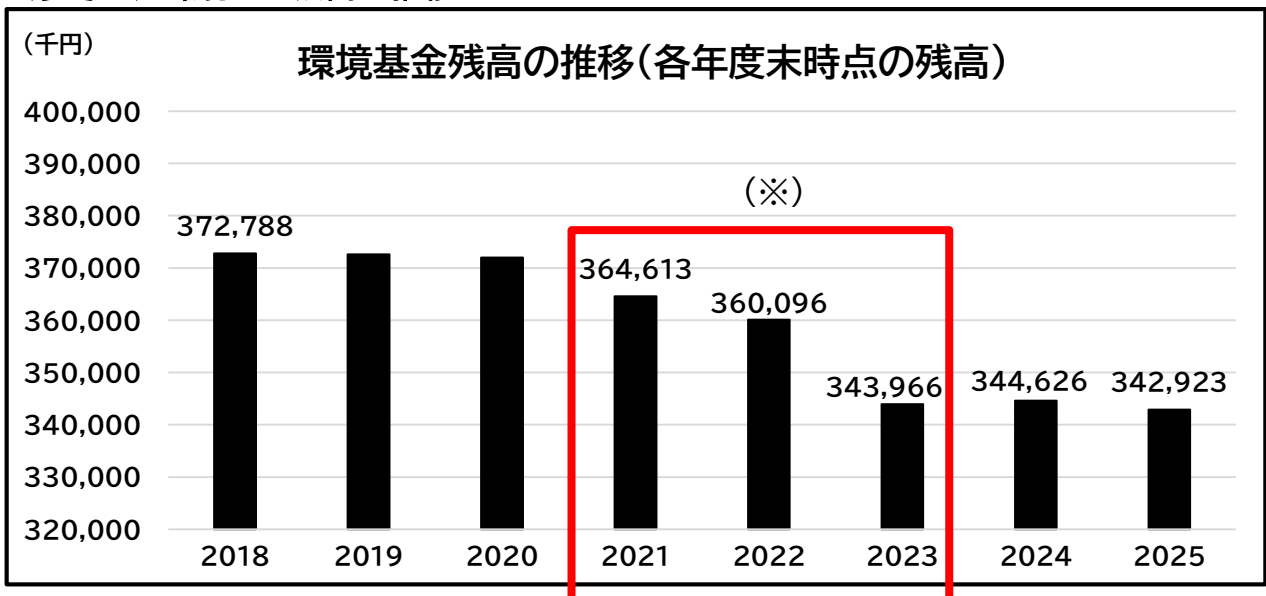
| 期 | 募集期間 | 助成の種類 | 審査会 | 活動期間 |
|------------|---------------------|--|----------|---------------------|
| 8年度 第1期 | 令和7年12月～ 令和8年1月末 | 一般助成 ファーストステップ助成 | 3月 | 令和8年4月～ 令和9年3月末 |
| 8年度 第2期 | 令和8年4月～ 令和8年5月末 | 一般助成 eco U(アンダー)-30助成(※) ファーストステップ助成 | 7月 | 令和8年8月～ 令和9年3月末 |
| 9年度 第1期 | 令和8年12月～ 令和9年1月末 | 一般助成 eco U(アンダー)-30助成 ファーストステップ助成 | 9年 3月 | 令和9年4月～ 令和10年3月末 |

第1期は丸一年の活動期間を確保するため、予算の議決を条件としたうえで、前年度末までに募集、事前相談、審査を行っている。

※ eco U(アンダー)-30助成(上限30万円)

子どもや若者(30歳未満)を対象として実施する取組や、若者が主体となって実施する環境活動。書類審査のみ。

(参考2) 環境基金残高の推移



※ 2021年度以降の基金残高が減少した理由

- ① 企業や大学向け周知の強化による高額申請の増加
- ② 庁内の情報発信資源を活用した周知対象の拡大
(NPO活動支援センター、足立区産業情報メールマガジン、あだちSDGsパートナー向け等)

産業環境委員会報告資料

令和8年4月15日

| 件名 | 足立区環境情報プラザ運営委託の公募型プロポーザルの実施について | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|--------------|----|-----|-------|----|----------|----|----|--------------|-----|----|-----|
| 所管部課名 | 環境部環境政策課 | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>足立区環境情報プラザ運営委託の公募型プロポーザルの実施について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 場所 足立区環境情報プラザ 足立区千住五丁目13番5号（学びピア214階）</p> <p>2 業務目的、内容 脱炭素、ごみ減量、生物多様性のテーマを柱に、地域学習センターなどの区内公共施設や区内イベントでの環境意識啓発講座や保育所・幼稚園等への出張講座や若者が環境についてやりたいことを応援できるような講座も盛り込み、区民の環境意識の向上を図る。</p> <p>3 業務委託期間 令和9年4月1日から令和10年3月31日まで ※ 履行状況が良好な場合に限り、最長2回まで（令和12年3月31日まで）契約を更新することができる。</p> <p>4 選定委員会委員構成</p> <table border="1" data-bbox="472 1355 1426 1664"> <thead> <tr> <th>委員区分</th> <th>人数</th> <th>役職等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学識経験者</td> <td>2名</td> <td>大学教授・助教授</td> </tr> <tr> <td>区民</td> <td>2名</td> <td>女性団体連合会、環境活動</td> </tr> <tr> <td>区職員</td> <td>1名</td> <td>管理職</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 今後のスケジュール</p> <p>(1) 令和8年 6月 選定委員会設置・告示 (2) 令和8年 6月 第一回選定委員会 (3) 令和8年 7月 公表・説明書交付 (4) 令和8年10月 第二回選定委員会 (5) 令和8年11月 第三回選定委員会 (6) 令和8年11月 特定結果の公表</p> | 委員区分 | 人数 | 役職等 | 学識経験者 | 2名 | 大学教授・助教授 | 区民 | 2名 | 女性団体連合会、環境活動 | 区職員 | 1名 | 管理職 |
| 委員区分 | 人数 | 役職等 | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者 | 2名 | 大学教授・助教授 | | | | | | | | | | | |
| 区民 | 2名 | 女性団体連合会、環境活動 | | | | | | | | | | | |
| 区職員 | 1名 | 管理職 | | | | | | | | | | | |